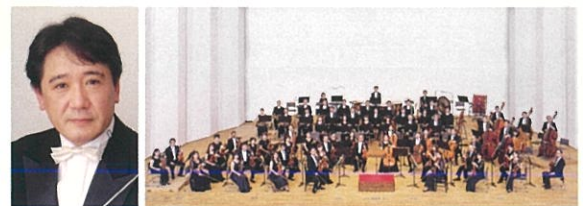


新進演奏家育成プロジェクト

オーケストラ シリーズ 第54回広島

オーディションによって選ばれた将来を期待される音楽家たちが広島交響楽団と夢の共演！
限りない可能性を秘めた、若さあふれるフレッシュな演奏をお楽しみください

2020.2.27 [木]
開演18:30 [開場18:00]
JMSアステールプラザ大ホール



指揮：末廣 誠 管弦楽：広島交響楽団

チケット発売日
全席自由 2,500円^(税込) 2019年12月20日 [金]

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド
福屋広島駅前店チケットサロン
ローソンチケット(Lコード：61350)
チケットぴあ(Pコード：169-942)
広響事務局

Yu Idezaki, Saxophone

サクソフォン
井出崎 優

[上野学園大学 卒業]

イベール
アルト・サクソフォンと
11の楽器のための
室内小協奏曲



Saaya Kimura, Violin

ヴァイオリン
木村 紗綾

[プラハ音楽院 在籍]

チャイコフスキー
ヴァイオリン協奏曲
ニ長調 Op.35



Kozue Takahashi, Soprano

ソプラノ
高橋 梢

[広島大学大学院 修了]

ベッリーニ
歌劇「夢遊病の女」より
“気も晴ればれと”

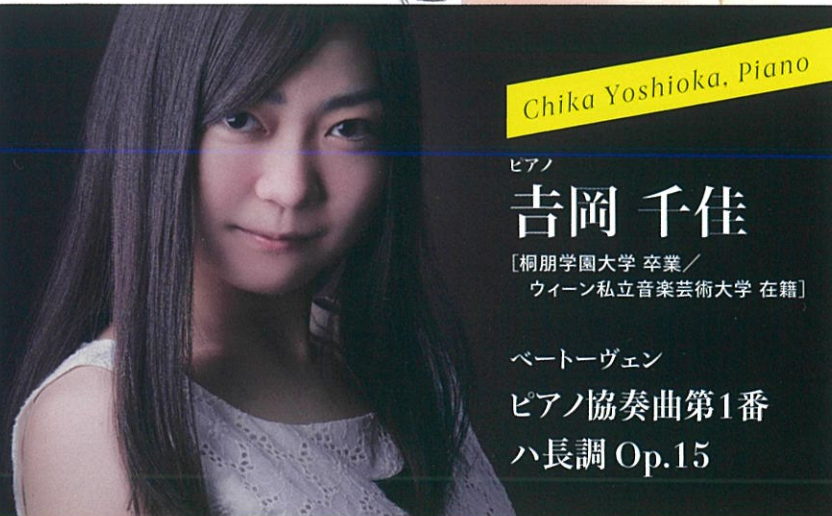


Chika Yoshioka, Piano

ピアノ
吉岡 千佳

[桐朋学園大学 卒業/
ウィーン私立音楽芸術大学 在籍]

ベートーヴェン
ピアノ協奏曲第1番
ハ長調 Op.15



新進演奏家育成プロジェクト
オーケストラ・シリーズ 第54回広島



Yu Idezaki, Saxophone

井出崎 優 [サクソフォン]

1993年生まれ、山口県山口市出身。上野学園大学音楽学部音楽学科を卒業。在学中に同大学オーケストラとP.クレストンの協奏曲を共演(下野竜也指揮)。

第28回中国ユース音楽コンクール、第17回さくらびあ新人コンクール、第6回秋吉台音楽コンクールなどに入賞。NPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会 第5回牛尾シズエ特別賞を受賞。これまでに工藤三千代、福光恒星、甲斐尚美、彦坂眞一郎、松原孝政、長澤範和の各氏に師事。2019年5月、ピアニスト高橋優介とのデュオユニット「ユークアート」として初のCDアルバム「for you」をティートックレコーズよりリリース。

現在、beautiful 珍 earth、東京中低域の各メンバーとして活動中。



Saaya Kimura, Violin

木村 紗綾 [ヴァイオリン]

広島市出身。15歳で渡欧。ブラハ音楽院に首席入学。第50回コツィアン国際ヴァイオリンコンクール第1位、第38回チェココンセルヴァトワール・ギムナジウム国際コンクール第1位、第2回ヴィッラフランカ・ディ・ヴェローナ国際コンクール第1位、並びに聴衆賞を受賞。チェコフィルハーモニー管弦楽団オーケストラアカデミー在籍中はブラハの春音楽祭、スメタナ音楽祭に出演。2016年より大植英次氏と威風堂々クラシックin Hiroshima、チャリティコンサート等、多数共演。これまでに、村上直子、石川静、中村英昭の各氏に師事。現在ブラハ音楽院にてイジー・フィッシャーに師事する傍ら、チェコフィルハーモニー管弦楽団、ブラハ交響楽団などの客演演奏者としても活動中。



Kozue Takahashi, Soprano

高橋 梢 [ソプラノ]

1993年愛媛県出身。広島大学教育学部音楽文化系コース(クラリネット専攻)卒業、同大学院教育学研究科音楽文化教育専修博士課程前期修了。22歳より本格的に声楽の勉強を始める。

学内オペラにて、「こうもり」(アデーレ)、「フィガロの結婚」(ケルビーノ)、「ジャンニ・スキッキ」(ゲラルディーノ)を演じる。2019年、ひろしまオペラルネッサンス「魔笛」クナーベリでオペラデビュー。

声楽を枝川一也、市村公子、佐藤ひさらの各氏に師事。現在、二期会オペラ研修所に第65期予科生として在籍中。



Chika Yoshioka, Piano

吉岡 千佳 [ピアノ]

ノートルダム清心中高等学校を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。2015年 いかるがコンクールピアノ音大生・音大卒業生部門 第1位。

これまでに、ピアノを畑久美子、原田敦子、西佳子、横山幸雄、広瀬康に、室内楽を田野倉雅秋の各氏に師事。

現在、ウィーン私立音楽芸術大学にてローランド・パティック氏のクラスに在籍中。

指揮/末廣 誠

桐朋学園大学修了。1989年、N.リムスキー=コルサコフのオペラ『サルタン王の物語』の日本初演において訳詞及び指揮を担当し、高い評価を受ける。以後オペラを数多く手がけ、豊富なレパートリーを誇っている。バレエでも多くの作品に参加しており、舞台作品における技量は各界から厚い信頼を得ている。

1990年ハンガリーにおいてサボルチ交響楽団を指揮。同年、ワイマールで開催された国際セミナーでイェナー・フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、チューリンガー・アルゲマイネ紙に「真にプロフェッショナルな指揮者」と称賛される。1991年、第4回フィッテルベルク国際コンクールにおいて第1位ゴールドメダルとオーケストラ特別賞を併せて受賞する。翌年よりポーランド国立放送交響楽団をはじめとする各地のオーケストラに招かれ、クラコフ放送交響楽団の首席客演指揮者に就任。また、国立シレジア歌劇場においてヨーロッパにおけるオペラデビューを果たし、定期客演指揮者として多くの作品を指揮している。

帰国後は群馬交響楽団を経て1995年から1999年まで札幌交響楽団指揮者を務め、多岐にわたる活動を続けている。2016年には、ウィーン楽友協会合唱団のモーツァルト「レクイエム」を指揮し大好評を得た。高いレベルの演奏を引き出す手腕には定評があり、今後の活躍が期待されている。また、執筆活動のほか演奏会の司会や企画にもその才能は遺憾なく発揮されている。レッスンの友社よりエッセー「マエストロ・ベンのお茶にしませんか?」を刊行。



管弦楽/広島交響楽団

国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中国地方を代表するプロオーケストラ広響は、2017年4月より下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年より終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化交流奨励賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>